

寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchyu Danwakai

北朝霞の蝶(3)

矢島 嘉和

シジミチョウ科

19. キマダラセセリ

当地では少ない蝶である。成虫は7月中旬、9月上旬によく見かける。年々化であるが、年によっては子化と思われる個体(2♀ 1♂ 24-K-1976, 2♂ 28-K-1978)でいずれも新鮮なものを採集している。

5・6月にススキ、エノコログサで幼虫を見かける。成虫はヒメジオンで吸蜜していることが多い。

20. イチモンジセセリ

当地で一番多いセセリチョウである。成虫を多く見かけるのは秋(8月中旬~9月)である。年々化と思われる。(自宅庭のススキでの飼育より)。春ではススキで幼虫が見つかるが、夏にはイネ、エノコログサ、ネササと広範囲になる。去年の9月6日に新座駅近くで30頭程度のイチモンジセセリが小さな群となって飛んで行くのを確認している。(午後3時ごろであった。)

21. ヒメキマダラセセリ

次の例のみ。2♂ 10-VIII-1978.

22. ダイミョウセセリ

当地で普通のセセリチョウである。年々化(5月上旬~6月、6月~8月、9月中旬~10月下旬)で、採集個体は次の通り。

2♂ 26-VII-1977, 4♂ 10-K-1978,
2♀ 29-V-1979.

23. ウラゴマダラシジミ

最近になって秋ヶ瀬近くの内間木の畑で発生地を見つけた。イボタの本数が限られており、絶滅は間近いものと思う。

23 exs. 23-V-1979.

24. ゴイシシジミ

最近少なくなった蝶である。発生地の大部分は公園、駐車場になってつぶされてしまった。

24 exs. 10-VII-1977, 32 exs. 3-K-1978.

25. ツバメシジミ

当地では、ヤマト・ルリシジミと共に普通のシジミチョウである。食草として確認できたのは、コマツナギ、ヌスビトハギ、シロツメクサである。年々化と思われる。

26. クロシジミ

筆者が小学生のころ、北朝霞近くの雑木林で採集した標本が残っている。

2♀ 1♂ 20-VII-1964 (年代は推定)。

27. ヘニシジミ

それほど多い蝶ではない。東武東上線沿いの畑で見かけることが多い。越冬場所としてスイバの近くの石の下、ギンギシの落葉の裏を確認している。

28. ウラナミシジミ

成虫を見かけるのは8月中旬である。(早い年では、2♂ 目撃 10-V-1975)。1976年には当地で発生を確認していない。10月下旬に産卵行動を見かけるが、死卵となり越冬できない。さなぎになる場所としては、アズキ畑の縁の(比較的新しい)枯葉の裏、3cm 四方程度の石のくほみを確認している。

29. ウラギンシジミ

当地では少ない蝶である。夏型よりも秋型の方が多い。毎年公園のフジで秋型幼虫を確認している。1978年には慶応志木高校のハリエンジュでも秋型幼虫を採集している。(10-VIIIに♂頭採り、6♂ 2♀が羽化)。

30. トラフシジミ

毎年、春に見かけるが少ない蝶である。1978年に公園のフジで幼虫を発見、6月中旬に全部さなぎになったが夏型は羽化せず、翌年の春に2頭羽化、さらに今年の春に2頭羽化させている。夏季には目撃例もない。採集例は次の通り。

1♂ 3-V-1975, 1♀ 10-V-1976,
1♂ 29-IV-1978, 2♀ 19-V-1979.

31. ヤマトシジミ

年々化または化と思われる。一番遅い採集例に、2♂ 12-XI-1979がある。

32. ルリシジミ

年々化と思われる。第1化の♀は公園のフジの花に産卵するのをよく見かけるが、夏から秋にかけてはクズに産卵することが多い。

シロチョウ科

33. ツマキチョウ

秋ヶ瀬付近だけに見られる。人家近くのイヌガラシで発生しているが、道路整備でつぶされるのは確実である。採集例は次の通り。1♀ 10-V-1976, 1♀ 1♂ 5-V-1978.

34. モンシロチョウ

当地ではキャベツ畑がなく、ダイコン畑に発生している。冬は人家のコンクリートブロックの天井下側でさなぎとなっている

のを見かけるが、夏はダイコンの葉裏、周囲の雑草の茎(カヤツリグサの茎でさなぎになっているのをよく見かけた)でさなぎとなる。第1化の早い記録として、1 ex. 目撃 14-II-1973 がある。

35. スジグロシロチョウ

年々化と思われる。盛夏(8月)はまったく見かけない。1979年7月の観察では、イヌガラシについた13頭の幼虫の中で、7月上旬にさなぎとなったものは7月下旬に羽化した。7月中旬以降にさなぎになった5頭は8月下旬から9月にかけて羽化している。食草として確認できたのは、イヌガラシ、ダイコンだけである。ダイコンではモンシロチョウの方が優勢であるが、時々本種しかいない株がある。冬はモンシロチョウと共に人家のブロックべいよく見かける。

2年続けて6個所のブロック天下裏でモンシロとスジグロの羽化比率を調べてみた。いずれも3月に自宅に持ち帰り、羽化させて個体数を調べたものであり、各群とも上の数がスジグロシロチョウ、下の数がモンシロチョウのそれぞれ羽化個体数である。

群年	I	II	III	IV	V	VI
1979	$\frac{2}{5}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{0}{8}$	$\frac{2}{6}$	$\frac{0}{8}$	$\frac{0}{7}$
1980	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{11}$	$\frac{0}{9}$	$\frac{4}{9}$	$\frac{0}{7}$	$\frac{1}{8}$

36. モンキチョウ

当地では少ない蝶である。(秋ヶ瀬付近では多い)採集例は次の通り。

1♂ 5-V-1976, 2♀ 6-IX-1978,
1♀ 27-V-1979.

アゲハチョウ科

37. アオスジアゲハ

浜崎団地にヤブニッケイが植えられたせい、1980年になってから増えた蝶である。団地ができる前には新座市方面に多い蝶であった。

38. アゲハ

年々化である。人家のカラタチの垣根、ミカン苗木に多い。志木市幸町にあるコクサギ

で幼虫を採集している。(1979年6月4日に2頭採集、2♂羽化)

39. クロアゲハ

それほど多い蝶ではない。採集例は、

1♀ 29-V-1977, 2♂ 4-IX-1979.

40. キアゲハ

年3化と思われる。ニンジン畑で幼虫が多く見られる割には、成虫は少ない。

41. カラスアゲハ

少ない蝶である。自宅に植えたカラスザンショウの苗木に毎年産みつけており、したがって毎年夏型が羽化する。当地ではザンショウで夏型幼虫が時々見つかるが、コクサギでは発見していない。

以上4種について記録できたが、まだ調査不足の感が強い。特にセフィルス(アカ、ウラナミアカ、ミドリ、オオミドリ)とツマグロキチョウについては、浦和市・新座市で生息を確認しているにもかかわらず、中間に位置する北朝霞においては未調査である。今後の課題となろう。

参考文献

1. 信州昆虫学会 (1973) 信濃の蝶 II アゲハチョウ科, シロチョウ科. 信州昆虫学会, 長野.
2. ——— (1976) 信濃の蝶 III シジミチョウ科, ウラギンシジミ科. 信州昆虫学会, 長野.
3. ——— (1977) 信濃の蝶 IV タテハチョウ科. 信州昆虫学会, 長野.
4. ——— (1979) 信濃の蝶 V ジャノメチョウ科, テングチョウ科, マダラチョウ科. 信州昆虫学会, 長野.
5. 昆虫愛好会 栃木県の蝶編集委員会 (1975) 栃木の蝶. 宇都宮.
6. 福田晴夫 他 (1972) 原色日本昆虫生態図鑑 (III, チョウ編). 保育社, 大阪.
7. 川副昭人 若林守男 (1976) 原色日本蝶類図鑑. 保育社, 大阪.
8. 藤岡知夫 (1975) 日本産蝶類大図鑑. 講談社, 東京.
9. 藤岡知夫 (1972) 図説 日本の蝶. ニューサイエンス社, 東京.

野辺山原 7 月未の蝶

原 聖 樹

1980年7月28日の午後、八ヶ岳東南ろくの野辺山原(海拔1360~1380m, 長野県南佐久郡南牧村)で確認した蝶を次に記す。○新鮮、◎中位、●汚損個体を示す。

ホシチャバネセセリ 1♂ ○
 コキマダラセセリ 多数♀♂ ○
 イチモンジセセリ 1♂ ◎
 キアゲハ 1♀ ○
 キチョウ 1♂
 スジボソヤマキチョウ 1♂ ○
 モンキチョウ 1♀ 1♂ ○
 エソスジグロシロチョウ 1♂ ◎
 スジグロシロチョウ 2♀ ○
 ウラゴマダラシジミ 1♂ ○
 トラフシジミ 1♀ ◎
 ペニシジミ 2♂ ○
 ルリシジミ 2♂ ○
 ヒメシジミ 2♀ ○

コヒョウモンモドキ 多数♀ ○◎, 多数♂ ○◎●
 ヒョウモンモドキ 1♀ ○, 2♀ ◎
 ヒョウモンチョウ 2♀ 1♂ ○, 3♀ 1♂ ◎, 3♂ ●
 ウラギンヒョウモン 1♀ 2♂ ○
 ミドリヒョウモン 2♀ 2♂ ○
 ヒメウラナミジャノメ 2♀ 2♂
 ジャノメチョウ 多数♂ ○
 ウラジャノメ 2♂
 キマダラモドキ 1♂
 ヒカゲチョウ 1♂ ○
 サトキマダラヒカゲ 1♀ ◎, 多数♀♂ ◎●

吾野周辺 8月中旬のチョウとトンボ数種

碓井 徹

1980年8月11日に、東吾野から芦ヶ久保にかけての奥武蔵地方で、若干の蝶とトンボを観察、採集したので報告する。

当日は晴れ時々曇りのまづまづの日和で大宮から東飯能に出て、西武秩父線で東吾野、西吾野、芦ヶ久保の各駅で下車して、それぞれノ〜2時間ずつ駅の周辺で採集してみた。以下、採集したり目撃した種のリストを挙げるが、蝶の記録中 ○は新鮮、◎はやや汚損、●はかなり汚損した個体をあらわす。

I. 東吾野周辺 (8:50 ~ 10:50)

駅を出て橋を渡り、300 mほど上流の右岸から流入する虎秀川に沿って間野のあたりまで行き駅へ戻った。

アオスジアゲハ 2♂ ○, 採集
アゲハチョウ 1 ex. 目撃
キアゲハ 1♀, 目撃
クロアゲハ 3 exs. ◎●, 目撃
カラスアゲハ 2♂ ◎●, 目撃
モンキアゲハ 1♂ ○, 採集. 1 ex ○

目撃. 虎秀の民家の庭のユリに訪花しているのを目撃したもの。採集した1♂は間野のあたりで沢に降りて吸水していたのである。これは、最初に目撃した個体が飛び去った方向と正反対の方向で採集したものであり、同一個体とは思われない。

この日は、その後西吾野でも本種をノ頭目撃し、一日で3頭を確認したわけであるが、過日、所沢昆虫同好会の宮倉清氏より、「顔振峠から刈場坂峠を経て白石峠へ向う、いわゆる奥武蔵グリーンラインに沿ってカラスサンショウが点在しており、モンキアゲハがシーズンには常に見られ、カラスサンショウから幼虫を採ったこともある。」という情報を得た。

本種の県内での土着の可否については筆者が本誌No. 26に簡単に論じたが、宮倉氏の話と、この日の様子から、本種の土着はかなり決定的と言っても良いので

はなからうか、9月にもう一度、この方面を歩いてみる予定でいる。

コムスジ 数頭, 目撃
ツバメシジミ 数頭, 目撃
ヒメキマダラセセリ 1♂ ○, 採集

ミヤマカワトンボ 1♀, 羽化殻を採集。

高麗川の岸で羽化直後の個体を発見し撮影しているうちに飛び去ってしまった。

ハグロトンボ 1♂, 採集
コオニヤンマ 2♂, 採集

高麗川はこの付近では右岸の上流数Mの所を国道が通っているので明るい川原になっているが、左岸は高さ数Mの急斜面に樹木が生育し、下草によってヤブが形成されて暗い川岸となっている。

本種の♂を4頭発見したが、すべて左岸の木影になっている川岸に見られ、あまり明確ではないが、岸に沿って4~5 Mの細長いナワバリを静止占有するのが観察された。

オニヤンマ 1♀, 産卵行動を目撃
ウスバキトンボ 多数目撃
アキアカネ 1♀, 採集

II. 西吾野周辺 (11:15 ~ 13:30)

駅から国道に出て、高麗川に沿って下流へ500Mほど歩き、小床へはいる橋を涉り、300Mほどは行ってから駅へ戻る。

アゲハチョウ 2頭目撃
クロアゲハ 1頭目撃
モンキアゲハ 1 ex. ○, 目撃
クロヒカゲ 1♂ ○, 採集
ダイミョウセセリ 1♂ ◎, 採集

ミヤマカワトンボ 1♀ 1♂, 採集

♂がムシヒキアブ (種不明) に捕獲されたが、流水に落下して逃れるのを観察した。

静止位置から飛び上がった♀に、空中でムシヒキアブが飛びつき、近くの流水から突出した枯枝に止った。(ミヤマカワトンボは正常な静止の状態で、アブがその四枚の羽の付根に横からしがみついた形であった)

数秒後、アブがしがみついたままトンボが飛ぼうとして2頭とも流水に落下し、しばらく水面に浮いていたが、アブは飛び去りトンボはそのまま流されて、流水中にひっかかっていた木の枝の下へ流れにまかせて潜り込んでしまった。

ウスバキトンボ 1♀, 採集

この他、ミヤマクワガタ、タマムシ、オオヨツスジハナカミキリを採集した。

Ⅲ. 芦ヶ久保周辺 (14:00~15:00)

駅を出て横瀬川に沿って国道を500Mほど上流へ歩き駅へ戻った。

ミヤマカラスアゲハ 1♂ ●, 目撃

コミスジ 数頭目撃

メスグロヒョウモン 1♀ ◎, 採集

駅前の民家の庭で訪花しているのを採集した。駅の構内で、本種の♂と思われる個体を目撃したが、同定は定かでない。

ミヤマカワトンボ 1♂, 採集

横瀬川はこのあたりで川幅5Mくらいであるが、本種の♂が両岸にそれぞれ岸に沿って数Mのナワバリを持ち、静止占有するのを観察した。

流れに沿った細長いナワバリの隣り合うナワバリの境界はかなり明確で、侵入する同種の♂個体に対しては、追飛をしきりに行っていたが、流れをはさんだ対岸は別個体のナワバリになっており、その個体との流水域中央部のナワバリの境界は、あまり明確でないようだった。

オニヤンマ 5頭目撃

コオニヤンマ 1♀, 採集

シオカラトンボ 1♂, 採集

アキアカネ 多数目撃

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

高登谷山7月中旬の蝶

原 聖 樹

1980年7月14日、15:00~16:00(曇)、秩父山塊の長野県側斜面に当る高登谷山南沢別荘造成地付近(1100m, 南佐久郡川上村)において、次の蝶を確認した。

ヒメキマダラセセリ 1♀ ○, 1♂ ◎

コヒョウモンモドキ 多数♂ ○

ヒョウモンチョウ 多数♂ ○

ウラギンヒョウモン 2♂ ○

クジャクチョウ 1 ex.

コムラサキ 1♂ ○

ヒメウラナミジャノメ 1♀ ●

その他、シラカバの中木が点在する草原で、ススキの枯葉の裏(地上高約1m)についたエルタテハのサナギを1個採集した。これは持ち帰って室内に放置しておいたところ、7月21日に♂が羽化した。

菑蒲町でアオバセセリ

菑 島 和 美

埼玉県の低地では、浦和市などで若干の記録があるようであるが、南埼玉郡では初めての採集例と思われるので、記録しておく。

アオバセセリ(完全品) 1♀

採集場所: 南埼玉郡 菑蒲町 小林

採集日: 1980年 8月 8日

夕刻、フジウツギの花で吸蜜していたもの

訂正依頼:

寄せ蛾記 No. 28 の次の3箇所をご訂正ください。

p. 228 14. ヒメウラナミジャノメ の食草(誤) ヒメジオン… (正) チジミザサ.

p. 234 伊豆ヶ岳のカミキリ のところで、題目の (誤) 彩集… (正) 採集.

ルリハナカミキリの (誤) 正丸峠…

(正) 正丸駅.

奄美群島 3 月の蝶

寺 山 守

筆者は、1980年3月13日より30日までの間、奄美群島において昆虫採集を行ったが、ここにこの群島における与論島、沖永良部島、徳之島、喜界島、奄美大島、加計呂麻島の各島で採集あるいは目撃できた蝶について記録する。

I. 与 論 島

- ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura) 2 exs. 品瀬 15-III-'80
 ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus)
 1 ex. 品瀬 13-III-'80, 1 ex. 品瀬 15-III-'80
 キチョウ *Eurema hecabe mandarina* (de l'Orza) 4 exs. 賀義野 15-III-'80
 ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* (Linnaeus) 1 ex. 品瀬 15-III-'80
 ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus) 1 ex. 賀義野 15-III-'80
 ルリタテハ *Kaniska canace siphnos* (Fruhstorfer) 1 ex. 賀義野 15-III-'80
 ジャコウアゲハ *Byasa alcinous loochooana* (Rothschild)
 2 exs. 品瀬 12-III-'80, 4 exs. 賀義野 15-III-'80
 シロオビアゲハ *Papilio polytes polycles* Fruhstorfer 1 ex. 品瀬 15-III-'80
 (目撃種) アサギマダラ

II. 沖 永 良 部 島

- ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura) 1 ex. 喜美留 18-III-'80
 シルビアシジミ *Zizina otis riukuensis* (Matsumura) 1 ex. 和泊 18-III-'80
 ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus)
 1 ex. 和泊 18-III-'80, 1 ex. 喜美留 18-III-'80
 キチョウ *Eurema hecabe mandarina* (de l'Orza)
 2 exs. 和泊 18-III-'80, 1 ex. 喜美留 18-III-'80
 モンキチョウ *Colias erate poliographus* Motschulsky
 2 exs. 和泊 18-III-'80, 1 ex. 喜美留 18-III-'80
 ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus) 1 ex. 和泊 18-III-'80
 (目撃種) アオスジアゲハ、ルリタテハ

III. 徳 之 島

- ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura) 4 exs. 亀徳 20-III-'80
 アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* Shirōzu
 1 ex. 亀徳 20-III-'80
 モンキチョウ *Colias erate poliographus* 2 exs. 亀徳 19-III-'80
 リュウキュウミスジ *Neptis hylas luculenta* Fruhstorfer 1 ex. 亀徳 20-III-'80
 モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler 1 ex. 亀徳 20-III-'80
 ジャコウアゲハ *Byasa alcinous loochooana* (Rothschild)
 5 exs. 亀徳 20-III-'80
 カラスアゲハ *Papilio bianor okinawensis* Fruhstorfer 1 ex. 亀徳 19-III-'80
 (目撃種) リュウキュウアサギマダラ、シロオビアゲハ、ヒメアカタテハ、タテハモドキ

IV. 喜 界 島

ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura) 1 ex. 荒木 22-III- '80
 シロオビアゲハ *Papilio polytes polycles* Fruhstorfer 1 ex. 荒木 22-III- '80

V. 奄美大島

ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura) 2 exs. 古仁屋 28-III- '80,
 2 exs. 名瀬市 (らんかん山) 30-III- '80, 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

シルビアシジミ *Zizina otis riukuensis* (Matsumura)

1 ex. 城 21-III- '80, 1 ex. 東城 23-III- '80

アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* Shirōzu

1 ex. 東城 23-III- '80, 3 exs. 古仁屋 28-III- '80

ムラサキシジミ *Narathura japonica* (Murray)

1 ex. 東城 21-III- '80, 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval

1 ex. 古仁屋 28-III- '80, 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

キチョウ *Eurema hecabe mandarina* (de l'Orza) 1 ex. 古仁屋 28-III- '80

ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe shirozui* Kurosawa et Omoto

1 ex. 城 21-III- '80

ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de Nicéville 1 ex. 城 21-III- '80

テングチョウ *Libythea celtis amamiana* Shirozu

2 exs. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* (Linnaeus) 1 ex. 古仁屋 28-III- '80

タテハモドキ *Precis orithya* (Linnaeus) 1 ex. 城 21-III- '80

アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst) 1 ex. 古仁屋 28-III- '80, 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus) 1 ex. 温湾岳 25-III- '80

イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* Fruhstorfer 1 ex. 城 21-III- '80,
 1 ex. 温湾岳 25-III- '80, 1 ex. 古仁屋 28-III- '80, 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

リュウキュウミスジ *Neptis hylas luculenta* Fruhstorfer 2 exs. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80,
 1 ex. 名瀬市 (らんかん山) 30-III- '80

ヒメジャノメ *Mycalasis gotama madjcosa* (Butler) 1 ex. 東城 23-III- '80,
 3 exs. 古仁屋 27-III- '80, 1 ex. 城 28-III- '80, 2 exs. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

ジャコウアゲハ *Byasa alcinous loochooana* (Rnthschild) 1 ex. 東城 21-III- '80,
 1 ex. 東城 23-III- '80, 1 ex. 古仁屋 28-III- '80

ミカドアゲハ *Graphium doson albidum* (Wileman) 1 ex. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

クロアゲハ *Papilio protenor demetrius* Cramer

2 exs. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

ナガサキアゲハ *Papilio memnon pryeri* Rothschild

2 exs. 名瀬市 (おがみ山) 30-III- '80

モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler 2 exs. 名瀬市 (おがみ山)

30-III- '80, 1 ex. 東城 30-III- '80, 1 ex. 東城 23-III- '80

(目撃種) リュウキュウアサギマダラ、アオスジアゲハ、シロオビアゲハ

VI 加計呂麻島

- キチヨウ *Eurema hecabe mandarina* (de l'Orza) 7 exs. 瀬相 28-III-1'80
 ヒメジャノメ *Mycalasis gotama madjicosa* (Butler) 1 ex. 瀬相 28-III-1'80
 リュウキュウミスジ *Neptis hylas luculenta* Fruhstorfer
 1 ex. 瀬相 28-III-1'80
 アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* Shirōzu
 5 exs. 瀬相 28-III-1'80
 クロセセリ *Notocrypta curvifascia* (C. et R. Felder) 1 ex. 瀬相 28-III-1'80
 ジャコウアゲハ *Byasa alcinous loochooana* (Rothschild) 2 exs. 瀬相 28-III-1'80
 モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler 2 exs. 瀬相 28-III-1'80
 カラスアゲハ *Papilio bianor okinawaensis* Fruhstorfer 4 exs. 瀬相 28-III-1'80
 アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer)
 1 ex. 瀬相 28-III-1'80,

浦和市におけるウラギンシジミの生息について

雨 宮 英 一

浦和市岸町の自宅近くへ秋になるとしばしば飛来するウラギンシジミの生息場所を確認したのでその経緯を報告する。

当地域における最初の出合いは大部昔になるが、1962年10月2日に自宅の庭に飛来したウラギンシジミ ♂1 の採集である。その時は迷い蝶であろうと自己判断をしていた次に、1976年10月10日、やはり自宅近くで ♂1 ♀2 が飛んでいるのを目撃し、♀1 を採集した。ウラギンシジミが同時に3頭もいた事実は、近くに生息場所の存在を考えたが、しかし翌1977年の秋には本種の姿を見る事がなかった。

1978年10月4日 ♂2 (採集しない) の飛来を見たので、その個体の後を追って生息場所の発見に努めたが、残念ながら徒労におわってしまった。それでも生息していることは間違いないと確信し、翌年に備え食草の調査を行うことにした。この附近は住宅地なので食草はフジとクスを予想し、自宅を中心に探したところ、クスは鉄道の土手で、フジは近所の旧家の庭に古い藤だながあることを見出した。

そうして、1979年の春には食草のある場所をしばしばおとずれて探索したが、残念ながら蝶を発見できずに終わった。しかし、1979年9月23日(晴天微風)の午前10時ごろ待望のウラギンシジミの ♂1 の飛来を見た

ので、急いで前記の藤だなへ走って見に行くと、予想したごとくフジだの上とそれに近いクリの古木のこずえで、♂3 が互いに飛び交い銀色の羽を鮮かに輝やかせている姿を見出すことができた。

これでこの古い藤だながウラギンシジミの生息場所であることが確認できた。その後の観察では、10月4日から5日あたりに発生した模様で、また10月9日から12日ごろに個体数が最も多くなって、8~9頭を数えるようになった。

その後、10月24日ごろに蝶の姿が見られなくなってしまった。

なお、この観察期間中では食草への母蝶の産卵はみられず、越冬後と思うがこれは今後も引続き同所を観察する中で確認したいと思っている。

この藤だなは昭和20年ごろに建てたものといわれ、以前には附近の屋敷や学校の庭などに藤だなを見かけたのに、市街化した現在ではほとんどなくなってしまった。

私どものこの観察から、浦和市内の住宅地域にわずかに残る藤だなに、ウラギンシジミが少数ながらも生息していることは、たいへん珍しい興味深いことであると思うし、今後もいつまでも当所に生息し続けてほしいと願ってやまない。

青森県下北半島のアリ

寺山 守

大島 聡氏は、1980年5月初旬に青森県下北半島で昆虫採集を行い、その時の採集品のうちアリ類を筆者に恵与された。ここに、その内容を記録し、大島氏に感謝申しあげる。

- 1) ムネアカオオアリ *Camponotus obscuripes* MAYR
1♀ 2♂♀ 大畑町薬研 2-V-'80, 1♀ 大畑町薬研 3-V-'80,
1♀ 12♂♀ 野辺地 4-V-'80.
- 2) トビイロケアリ *Lasius niger* (LINNAEUS)
7 ♀♀ 大畑町薬研 2-V-'80, 7 ♀♀ むつ市樺山 3-V-'80,
1 ♀ 野辺地 4-V-'80, 3 ♀♀ 恐山 4-V-'80.
- 3) *Lasius* (*Chthonolasius*) sp.
5 ♀♀ むつ市樺山 3-V-'80.
- 4) スミシアシナガアリ *Aphaenogaster japonica* FOREL
31 ♀♀ むつ市樺山 3-V-'80, 2 ♀♀ 恐山 4-V-'80.
- 5) アズマオオズアカアリ *Pheidole fervida* FR. SMITH
1♀ 2♀ 20 ♀♀ むつ市樺山 3-V-'80.

+++++

日野春の蝶と蛾

斎藤 悟

1980年7月上旬(曇,小雨)、日野春をおとずれ次の蝶・蛾を採集した。夜間もクヌギの木を順々にまわって採集してみた。

・1980年7月5日

オオムラサキ (2♀ 7♂), トラフシジミ, ウメエダシャク, ヤマトカギバ, フタテンオエダシャク, フトフタオビエダシャク, ナミガタエダシャク, ソトジロツマキリクチバ, コガタノキシタバ (4 exs.), ワモンキシタバ, オスグロトモエ (♂1), シラフクチバ (♂1).

・1980年7月6日

クロヒカゲモドキ (2 exs.), クモガタヒョウモン, キマダラモドキ, ヘリグロチャバネセセリ (6 exs.), ウラナミアカシジミ, クロヒカゲ (2♀), ヒメジャノメ, スジグロシロチョウ, キテョウ (2 exs.), ルリシジミ (2 exs.).

この日、同行者はオオクワガタや、トラップによるアオオサなど、多数採集した様なので記録することをすすめている。

隠岐島の蛾3種

市川 和夫

碓井 徹氏から次の蛾の採集記録の発表を委託された。標品は筆者が保有している。

- ・採集日：昭和54年(1979)8月18日
- ・場所：島根県隠岐郡西ノ島 焼火山 (ダクヒサン)
- ・採集者：碓井 徹
- 1) *Erebus crepuscularis* LINNÉ オオトモエ 2♂.
- 2) *Spirama retorta* CLERCK オスグロトモエ 1♀.
- 3) *Phalera flavescens* BREMER et GREY モンクロシャチホコ 1♀.

ムモンアカシジミを
大滝村で採集

萩島 和美

埼玉県では記録の少ないムモンアカシジミを採集したので報告する。

- ・採集日：1980年8月13日 15時、曇りがち
- ・場所：埼玉県大滝村川又
- ・採集個体：1♀ 1♂, 他に2 exs. を目撃。

北海道7月下旬のシャチホコガ

市川和夫

1980年7月下旬に採集した北海道地方の蛾のうち、シャチホコガ類について記録する。

- 1) シャチホコガ *Stauropus fagi persimilis* BUTLER
1♂ 勇駒別 (上川支庁) 23-VII-'80, 1♂ 天人峡 (上川支庁) 24-VII-'80
 - 2) ホソバシャチホコ *Fentonia ocypete* BREMER
1♂ 天人峡 24-VII-'80, 1♂ 川湯 (釧路支庁) 26-VII-'80
 - 3) トビマダラシャチホコ *Notodonta tritophus sugitanii* MATSUMURA
1♂ 川湯 26-VII-'80
 - 4) ウチキシヤチホコ *Notodonta dembowskii* OBERTHÜR
3♂♂ 勇駒別 23-VII-'80, 1♀ 1♂ 天人峡 24-VII-'80
 - 5) アカネシャチホコ *Peridea lativitta* WILEMAN 1♂ 日高 (日高支庁) 27-VII-'80
 - 6) オオウグイスシャチホコ *Suzukia cinerea* BUTLER 1♂ 天人峡 24-VII-'80
 - 7) ツマジロシャチホコ *Allodonta sikkima leucodera* STAUDINGER
3♀♀ 2♂♂ 勇駒別 23-VII-'80
 - 8) ハガタエグリシャチホコ *Hagapteryx admirabilis* MATSUMURA
1♀ 勇駒別 23-VII-'80
 - 9) エゾエグリシャチホコ *Ptilodon jezoensis jezoensis* MATSUMURA 1♂ 勇駒別
23-VII-'80, 1♂ 天人峡 24-VII-'80, 2♀♀ 日高 27-VII-'80
 - 10) シロスジエグリシャチホコ *Fusapteryx ladislai* OBERTHÜR
2♂♂ 勇駒別 23-VII-'80, 1♂ 天人峡 24-VII-'80
 - 11) タテスジシャチホコ *Togapteryx velutina* OBERTHÜR 1♀ 天人峡 24-VII-'80
 - 12) ハイイロシャチホコ *Microphalera grisea* BUTLER
2♀♀ 1♂ 勇駒別 23-VII-'80, 4♂♂ 天人峡 24-VII-'80
 - 13) アオバシャチホコ *Zaranga permagna* BUTLER 1♂ 日高 27-VII-'80
 - 14) シロジマシャチホコ *Pheosia fusiformis* MATSUMURA 1♀ 勇駒別 23-VII-'80
 - 15) スジモクメシャチホコ *Hupodonta lignea* MATSUMURA
1♂ 天人峡 24-VII-'80, 1♀ 日高 27-VII-'80
 - 16) ギンモンシャチホコ *Spataliodes dives okamotonis* MATSUMURA
1♂ 勇駒別 23-VII-'80
 - 17) ウスキシャチホコ *Bireta pallida* BUTLER 1♀ 天人峡 24-VII-'80
 - 18) モンクロシャチホコ *Phalera flavescens* BREMER et GREY 1♂ 日高 27-VII-'80
- 地名について：勇駒別・天人峡……上川支庁 東川町 勇駒別温泉・天人峡温泉（いずれも、大雪山国立公園の旭岳西ろく）
川湯……釧路支庁 弟子屈町 川湯温泉（阿寒国立公園の硫黄山の北側）
日高……日高支庁 日高町

クマゼミの鳴声記録

星野正博

- (1) 1980年8月12日 10:40 与野市 下落合
- (2) 1980年8月21日 9:55 と 10:35 の2回
川口市 新井宿

以上、冷夏と騒がれた今年確認したもの。